



【作 成】社会福祉法人 岡垣町社会福祉協議会

【問合せ】岡垣町役場福祉課(松山・社川) ☎282-1211 / 岡垣町社会福祉協議会(江口・田之上) ☎283-2940

効果的な活動を生み出すために、まずはしっかりと現状把握。

中央公民館 / 参加者 70名

全体のおおまかな流れ

まずは集まって
みんなで話そう！

町や地域の
課題・現状は？
今から何が必要？

こんなことやりたい！

やりたいことで
グループをつくろう！

やりたいこと
の企画

- ・目的は？
- ・対象は？
- ・場所は？など

やってみよう！
やりたいことの実践



第2回「話し合いの場」は、第1回を上回る71名（地域住民27名、民生委員・児童委員20名、事業所等24名）が参加しました。前回の参加者48名のうち、7割を超える方が継続して参加しています。さて今回は、前回の「今取り組むべきと感ずること」で最も多かった“ちょっとした手助け”を掘り下げ、すでに取り組まれている手助けの把握や、これから必要となる手助けについて意見を出し合いました。会場からは『早く具体的に動きたい！』という熱気を感じますが、効果的な取り組みを生み出すためにも、ていねいに現状把握してみましょう！

本日のプログラム

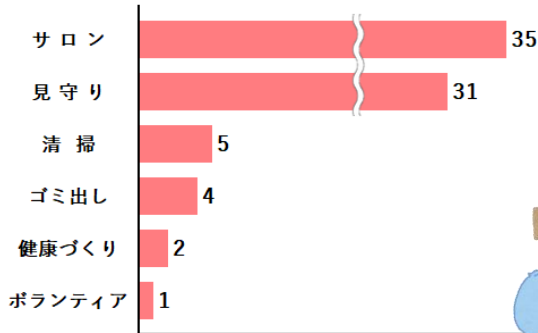
1. 開会
2. 前回のふり返り（社協から）
3. グループ編成（11グループ）
4. 防災に関する話
5. グループワーク“ちょっとした手助け”
6. 事例提供（社協/実践者）
7. まとめ
8. 次回案内、閉会

「ちょっとした手助け」って、どんなことだろう？

前回の話し合いの中で、“今取り組むべきこと”として最も意見が多かったのが「ちょっとした手助け」です。しかし、一言で「ちょっとした手助け」と言っても内容は幅広い…。そこで、今地域では実際にどんな手助けに取り組まれているのか、これからどのような手助けが必要か、意見を出し合いました。



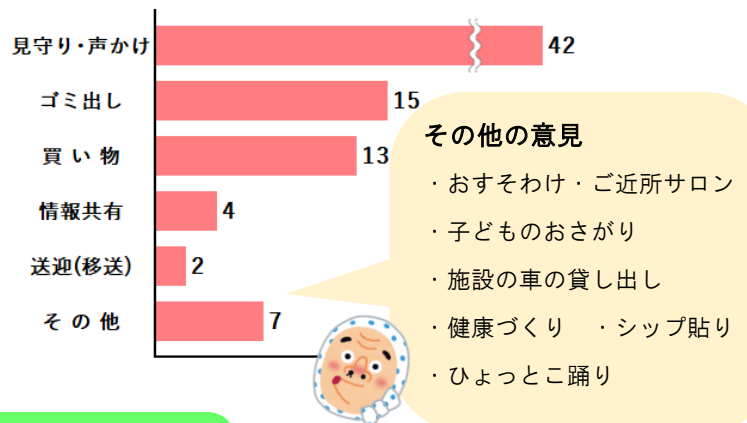
①自治区でしていること【現状把握】



自治区という範囲での取り組みで圧倒的に多かったのは、「サロン」「見守り」の2つでした。中でも、見守りについては高齢者だけでなく、意見の約7割が「子どもの見守り」だったことが特徴的です。その他については、左のような結果となりました。

②ご近所や隣組でしていること【現状把握】

①の自治区よりも身近なご近所や隣組の範囲でも、「見守り・声かけ」が圧倒的に多い結果となりました。一方では、「ゴミ出し」や「買い物」「送迎」など、より具体的な手助けに関する意見が多くなっています。特に、「その他」に含まれている「おすそわけ」「シップ貼り」などは、個人の暮らしに密着した特徴的な意見でした。



その他の意見

- ・おすそわけ・ご近所サロン
- ・子どものおさがり
- ・施設の車の貸し出し
- ・健康づくり
- ・シップ貼り
- ・ひよっこ踊り



③今後、具体的にどんな取り組みが必要？



ここに集められた意見は、どれも地域にとって必要なこと。では、それを誰がどんな方法で実現するのか。自分はどのような取り組みにどんな形で参加できるかを考えてみましょう。



今後の取り組みとして最も多かったのは「サロン見直し」であり、その内容は世代間交流の必要性や空き家の活用も含めた場所に関すること、内容に関する事など多岐に渡りました。身近な場所での居場所づくりから豊かな関係性を築き、助けあいに取り組もうとする意欲がうかがえます。具体的な生活支援としては、「ゴミ出し」や「買い物支援」なども意見としてあがり、具体的に取り組みを進めるための貴重な意見が集まっています。

